

10/11 実施

企 業：株式会社新里製本所

テーマ：アパレル向け生地を活用したオリジナル「製本加工技術」

Q：持ち込み生地を使った製本は可能ですか？

A：もちろん可能です。しかし、表面に凹凸があったり、柄で縦横があったりするものは生地の曲がり目立ち加工も難しいので、多少生地は選びます。

Q：製本する場合、生地の幅は最低どのくらいでしょうか？

A：生地を本にする場合は必ず裏に紙を貼る必要があります。ある程度の生地幅が必要です。36cm くらいの反物には挑戦したことはあります。通常の加工を想定すると、60cm 以上の幅は欲しいですね。

Q：本のサイズは色々選べますか？

A：A6 サイズから B4 サイズまでお選びいただけます。正方形でも長方形でも可能ですが、長辺と短辺が極端なバランスだと難しいかもしれません。

Q：例えば、角に R をつけたような加工もできますか？

A：中の板紙を加工すれば、可能です。

Q：例えばハートやしずくのような、特殊な形は可能でしょうか？

A：まず、本は綴じるものなので、一体どこで綴じるのか？といった問題が前提として生じます。機械で全てをまかなうとなると難しいですね・・・手作業も含めて可能性はゼロではないですが、やはり技術やコスト考えると現実的ではありません。表紙を作ったあとに抜くとか切るとか、加工を施した経験もありますがやはり四角形でした。

Q：上製本の生地に、さらに箔押し加工は？

A：可能です、問題ありません。

Q：本の紙質、ページ数はある程度自由になるものでしょうか？

A：本の綴じ方によって変わりますが、紙なら大体はなんとかなると思います。問題は本の厚さです。分厚い分には 6cm くらいまで OK ですが、薄すぎると難しいですね。最低 6mm くらいは欲しいかな、といったところです。